



# JAMCA ニュース

No.70

2011年7月1日

発行  
協会事務局  
編集事務局

全国自動車大学校・整備専門学校協会  
〒160-0015 東京都新宿区大京町31  
ヴィップ新宿御苑 ☎03-3356-7066  
〒125-0002 東京都葛飾区西亀有3-28-3  
☎03-3601-2535 FAX 03-3601-2988  
ホームページアドレス <http://www.jamca.jp/>

## 東日本大震災の教訓

中部国際自動車大学校理事長・校長  
全国自動車大学校・整備専門学校協会副会長

齋木 寛治

### 浮き彫りになった問題点

「備えあれば憂いなし」と言われるがこの度の東日本で発生した巨大地震は私たちの想像を絶する被害をもたらす大惨事になりました。自然の前での人間の無力さと科学の限界を痛烈に感じさせる出来事でした。美しいのどかな町並みが一瞬にして跡形もなく津波にのみこまれたことは言葉で表せない驚きと悲しみを覚えます。震災で亡くなられた方々のご冥福と親族またその関係者の方に対し心より哀悼の意を表します。また不自由な避難生活を余儀なくされている皆さんの一刻も早い復興を願わずにはいられません。

津波によって押し流されたガレキの中に車が無残な姿で放置されている現状が報道されています。今回の震災で被災車両は41万台とも言われています。社会生活や産業の輸送機関としても車も災害から逃れることはできません。今は災害の復興に重要な役割を果たしていますが課題も多く感じられました。

災害の復興には重機やトラック、そして人員の輸送にはバスや乗用車が必要不可欠ですが、そのほとんどを燃料としてガソリンや軽油に依存しています。しかし、その供給も今回の被災地では不足して迅速な対応が遅れたことが指摘されました。

### 次世代エネルギーの研究

今まさにHV・EVの時代を迎えようとしています。これからは化石燃料に頼らず自然界にエネルギー供給源を模索しながらスマートグリッド等地球



環境を考え、人も自然界の一員として共存していく構えが必要ではないでしょうか。

福島の原子力発電設備が崩壊し放射能による環境汚染は、世界規模の大問題を呈しました。電気は重要なライフラインであり、あらゆる分野で重要とされてきましたが、今回の震災で無残にも悉く破壊されてしまいました。改めて原子力発電の恐怖と電気の有難さを感じる次第です。

海に囲まれた日本列島は、今回の震災が他人事でないことを肝に銘じ、更なる安全対策に英知を注ぐと共に、全てを電気に頼らず自然界の力を有効活用するなど、人類の英知を終結すれば、もっと他のエネルギー源を見出すことができるのではないのでしょうか。私のいる土岐市には「自然科学研究機構核融合科学研究所」があり、海からの燃料、核融合プラズマ発電炉の研究がなされています。核融合と核分裂については又の機会にお話できると思います。

### 教訓を活かした再生を

「人間は考える葦である」これはフランスの数学者・物理学者・哲学者のパスカルが提言した有名な言葉です。人間の肉体は、この葦という水辺に生えている草のように細くて弱い存在かもしれません。しかし、他の動物との違いは考える力を持っています。つまり知恵があるところです。時には判断を誤り、思わぬ過ちや失敗をしてしまうこともあります。今回のような甚大な災害を繰り返さないよう反省することを教訓にし、多くの人の知恵をもって力強い日本の再生を信じております。

文末になりますが、JAMCA 会員校の花壇自動車大学校の、亡くなられた1名の学生さんのご冥福をお祈りと共に、まだ行方不明の1名の学生さんの一日も早い発見を願っております。被害に遭われた学校並びに関係各位に対し少しでも早い平穏な日常生活を願ってやみません。

### CONTENTS

- 2面 今夏の電力使用規制と生活への影響
- 3面 我が校自慢
- 4面・5面 東日本大震災の現地レポート
- 6面 協会トピックス
- 7面 活躍!! 卒業生・地区通信
- 8面 私の教材活用・お知らせ・編集後記